

4号機 圧力抑制室内の点検結果について

平成 16 年 11 月 22 日

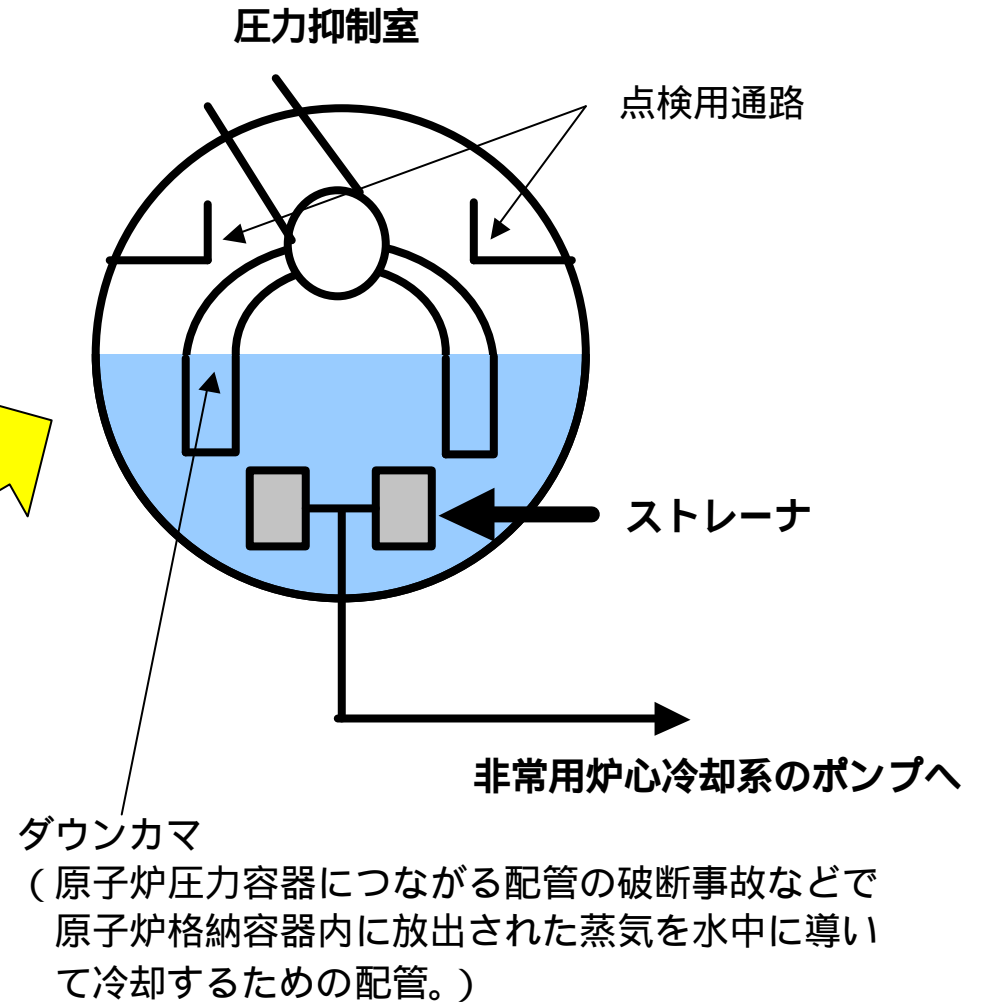
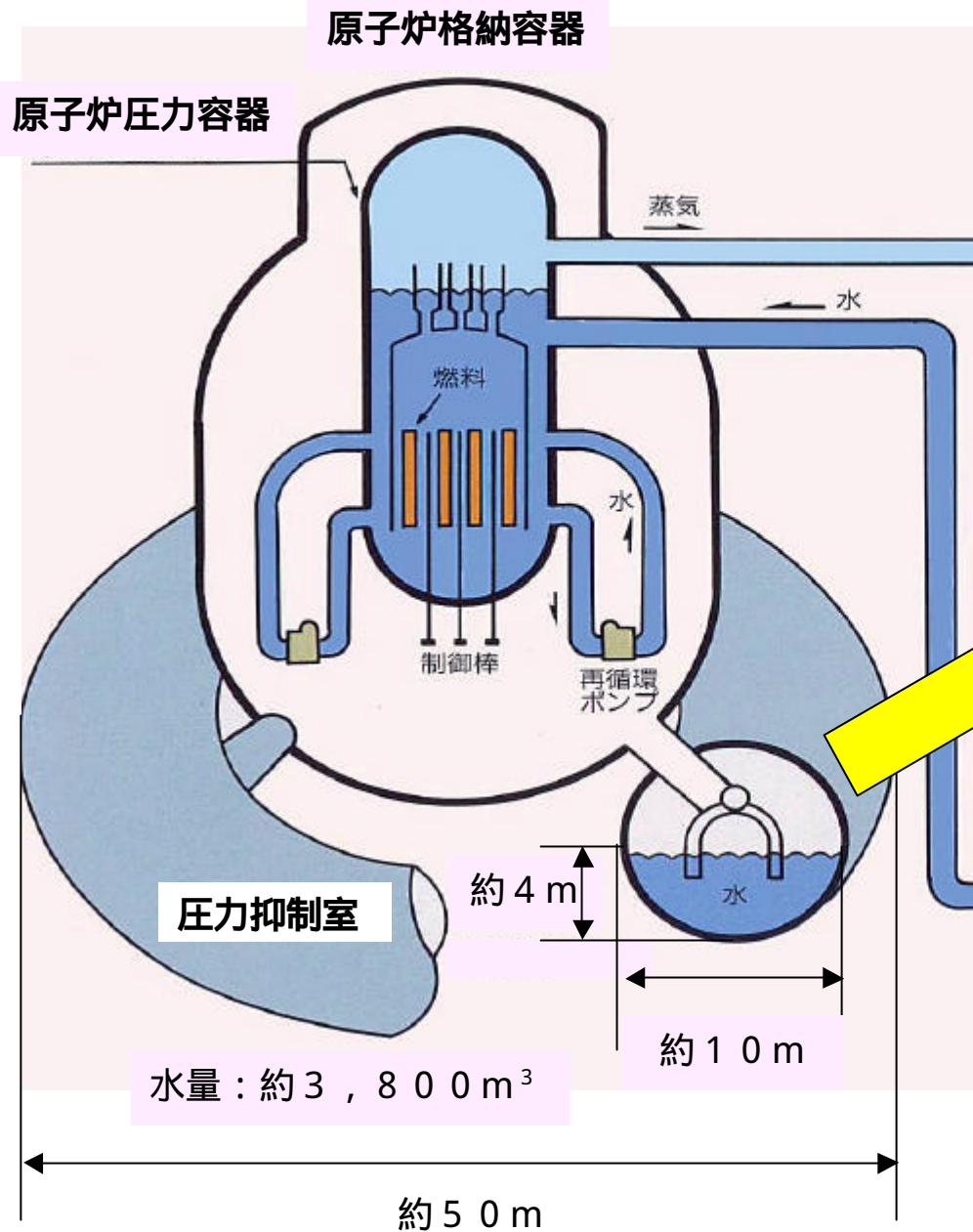
4号機(平成16年9月29日から第8回定期点検中)において、11月18日から22日にかけて、圧力抑制室(1)内の目視点検を実施しました。点検の結果、針金やテープ片等の小物を確認し、すべて回収しました。

なお、これらの回収物は、発電所の運転に影響を与えるものではありません。(2)

- 1 原子炉格納容器下部に位置し、水(約3,800m³)を貯蔵している設備。原子炉压力容器につながる配管の破断事故などで原子炉格納容器内に放出された蒸気を水中に導いて冷却し、原子炉格納容器圧力の上昇を抑制するとともに、非常用炉心冷却系の水源としての機能を有するものです。
- 2 非常用炉心冷却系の吸い込み口には、ごみ等を吸い込まないようにストレーナ(網目の大きさ約1.5mm角の金網)を設置しています。

以上

【圧力抑制室概要図】



【回収物一覧】

	種類	形状
	空箱（紙）	長さ約19cm×巾約4.5cm×高さ約3cm
	布片	長さ約23.5cm×巾約2cm
	テープ片	長さ約28cm×巾約2cm
	金具1	長さ約9cm×巾約2cm（細い所 約8mm）
	針金	長さ約7cm×径約2mm
	金具2	長さ約6cm×巾約1.5cm×径約3mm

【回収物写真】

